浪岡養護学校（病弱支援学校）の概要

令和元年７月１３日

13:30 ～14:30

《 説 明 内 容 》

1　在籍児童生徒の状況

2　高等部生徒の進路状況

3　医療的ケアの内容及び状況

4　学校経営の主な重点事項

5　重度・重複障害の児童生徒へのICT機器を活用した効果的な指導

6　地域の要請に応じた支援（教育相談、巡回相談）

在籍児童生徒の状況

（1） 在籍数

（5月1日現在）

学　部	通常学級	重複学級	重心棟 学　級	訪問教育 学　　級	計
小学部	2	8	10	0	20
中学部	6	3	1	3	13
高等部	5	8	11	3	27
計	13	19	22	6	60

在籍児童生徒の状況

（2）出身市町村別在籍児童生徒数

平成３１年５月１日現在

市	人数	町村		人数
青森市	９	上北郡	野辺地町	１
弘前市	１２		七戸町	１
黒石市	９	南　郡	田舎館村	１
平川市	４		藤崎町	２
五所川原市	９	北　郡	中泊町	２
つがる市	３		板柳町	１
八戸市	１		鶴田町	３
むつ市	１	秋田県鹿角市		１
		合　計		６０

学齢超過者及び過年度卒業生

	対　象	令和元	待機者	修業年限
学齢超過者	義務教育等を受けていない方	４名 (56～58歳)	0	５年 (小6,中3,高1～3)
過年度卒業生	小・中学部を卒業し、高等部教育を受けていない方	３名	５名	３年 (高1～3)

高等部卒業後の進路（ここ5年間）

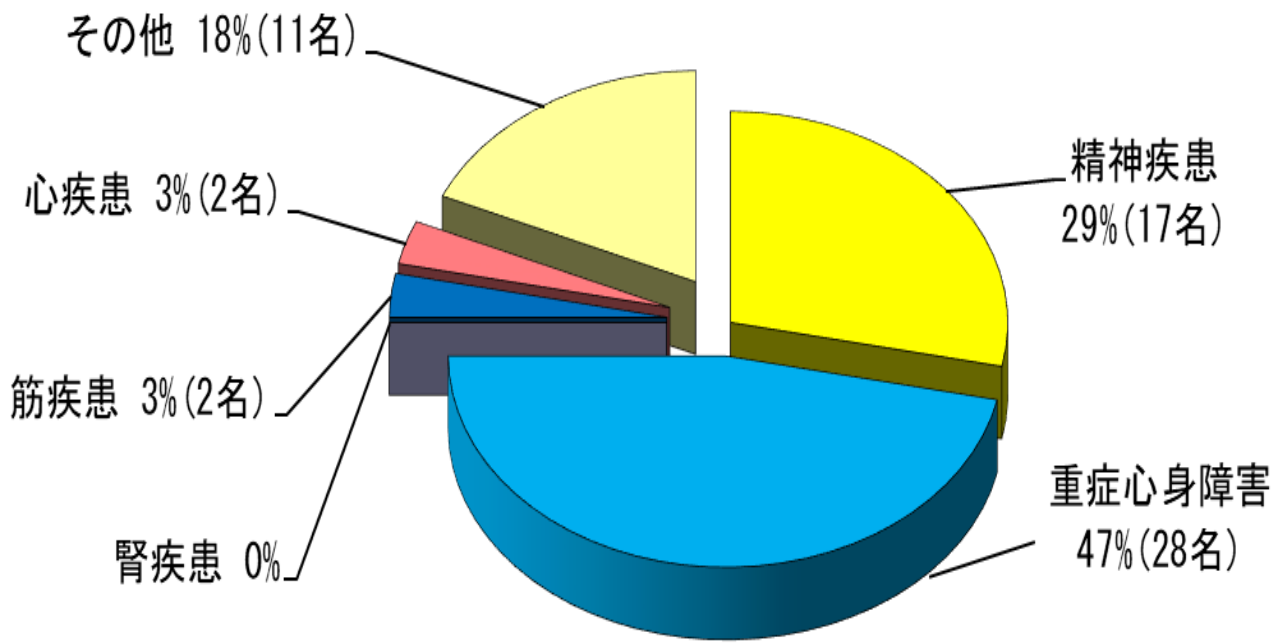
	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30
大学（国公立・私立）	1				
専門学校					1
職業訓練校等					
就　　職	1	1	2	2	1
福祉就労				3	2
施設通所等		4	1		
家事手伝い		1		1	
継続治療（含自宅療養）	2	4	3	4	4
計	4	10	8	10	8

浪岡養護学校の児童生徒の実態（近年）

（１）重度・重複化、多様化の進行

（２）精神疾患や発達障害のある児童生徒の増加

令和元年度　児童生徒の病態別分類



医療的ケアの内容及び状況

（1） 医療的ケアの必要な児童生徒数

全校児童生徒数	医療的ケアが 必要な児童生徒	学校で医ケアを 実施している児童生徒
60名	30名	14名

（2） 医療的ケアの内容及び状況

内容	医療的ケアが 必要な児童生徒	学校で医ケアを 実施している児童生徒
痰の吸引	25名	14名
酸素療法	10名	0名
経管栄養	26名	4名
人工呼吸器（常時）	9名	0名

※ 医ケアには含まれないが、てんかん発作時の坐薬を学校保管している児童生徒は2名いる。

（３）医療的ケア

年　度	H29	H30	令和元
学校における 医ケア対象児童生徒数	１５名	１６名	１４名
看護師（臨時講師）	２名	２名	３名

医ケアの内容や実施時間が増えた。

年度当初に体制整備を行った。

学校経営の主な重点事項

（１）多様な児童生徒を支援するための専門性の向上

①　重度・重複障害の児童生徒

（身体、認知・コミュニケーション、摂食、医療的ケア等）

②　精神疾患、発達障害の児童生徒

（教科指導、情緒の安定、認知・コミュニケーション等）

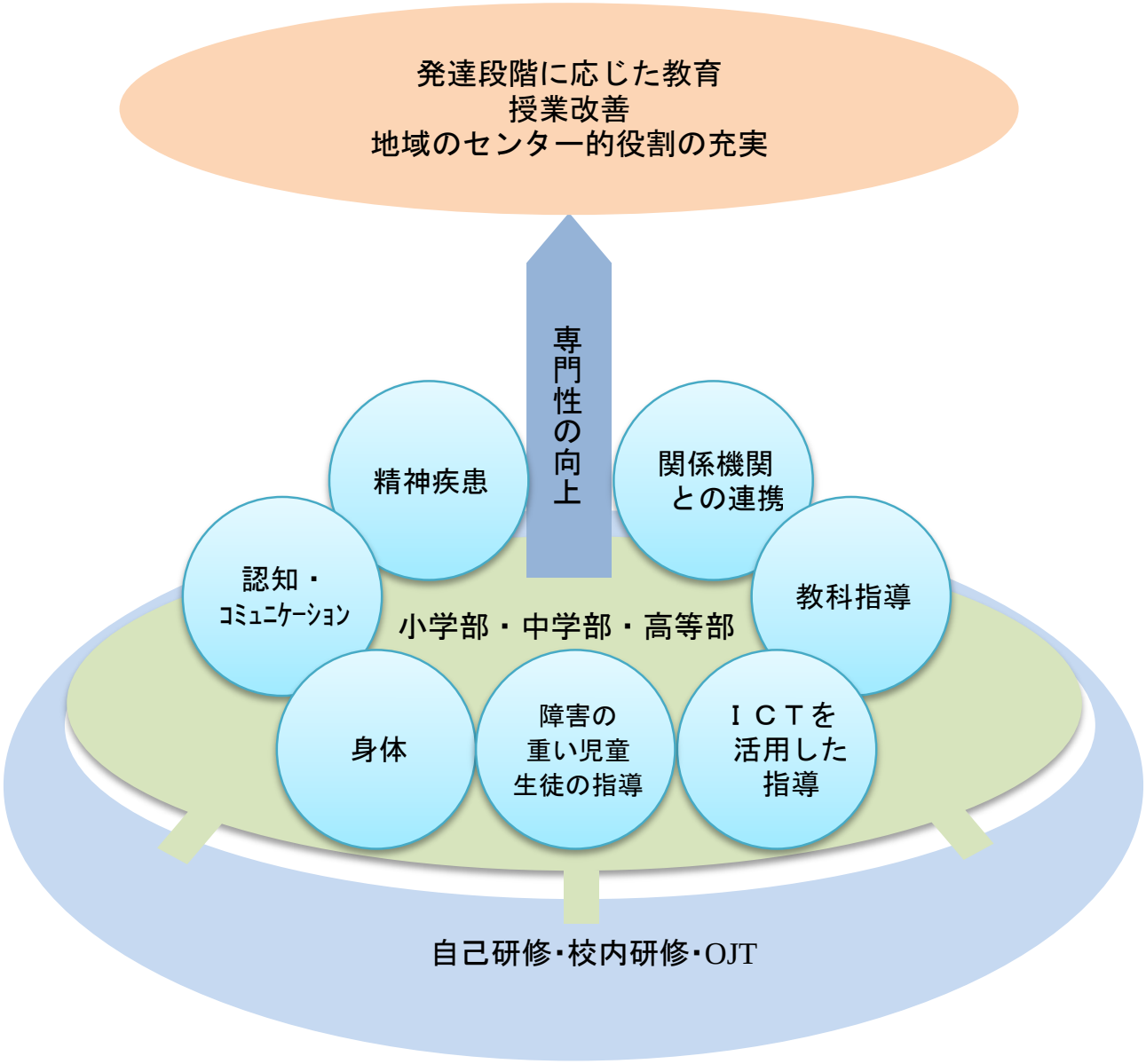
（２）ICT機器を活用した効果的な指導

①　重度・重複障害の児童生徒

②　登校できない児童生徒

③ 集団に参加できない児童生徒

（３）地域の要請に応じた支援（教育相談、巡回相談等）の充実


発達段階に応じた教育
授業改善
地域のセンター的役割の充実
専門性の向上
精神疾患
関係機関との連携
認知・コミュニケーション
教科指導
小学部・中学部・高等部
身体
障害の重い児童生徒の指導
ＩＣＴを活用した指導
自己研修・校内研修・OJT